

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>

(Y2208)

※品名・型番

※保証期間

お買い上げ 年 月 日より1年間

お客様ご氏名

ご住所

TEL() -

※販売店印(住所、店舗名、電話番号)

様

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

※印は販売店記入

●保証書は再発行いたしません。

●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載しております。

●この保証書は国内のみ有効です。

This guarantee is valid only in Japan.

●ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。

2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。

3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。

4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。

5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。

6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。

7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。

8. 電池の交換。

電波時計について

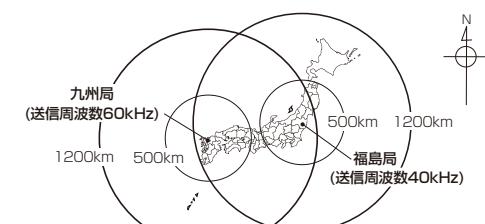
電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能ですが、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

●プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。

●時計が動いていても定期的に交換する。

●長期間使用しないときは電池を取り外す。

●時計が止まつたらすぐに電池を取り外す。

●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

●幼児の手が届かない所に置く。

●古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。

●種類の異なる電池を混ぜて使わない。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなことがあります。

(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

おもな製品仕様

使 用 溫 度 $-10\text{ }^{\circ}\text{C}$ ~ $50\text{ }^{\circ}\text{C}$ *結露しないこと

液 晶 表 示 可 読 温 度 $0\text{ }^{\circ}\text{C}$ ~ $40\text{ }^{\circ}\text{C}$

時 間 精 度 標準電波受信成功直後 $\pm 1\text{ 秒}$

標準電波を受信しない場合

平均月差 $\pm 30\text{ 秒}$ (温度が $5\text{ }^{\circ}\text{C}$ ~ $35\text{ }^{\circ}\text{C}$ のとき)

使 用 電 池 単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個

電 池 寿 命 約1年 アラーム:30秒/日鳴らしたとき

標 準 電 波 標準電波を受信して日付・時刻を修正

受 信 局 福島局/九州局自動選択

受 信 回 数 1日8回

受信ON/OFF ボタン操作にて切替可能

標準電波受信開始時刻

1時から4時、13時から16時の各時間帯16分40秒に開始。

アラーム 機能 設定した時刻にアラームが鳴る

アラーム 精度 表示時刻に対して $\pm 0\text{ 秒}$

アラーム 音 電子音

スヌーズ アラーム音が約5分間の一時停止

オートストップ アラーム音が連続5分で自動停止

カレンダー 2015~2099年対応

六曜 2030年まで対応

防塵防滴なし

温 度 表 示 $-9.9\text{ }^{\circ}\text{C}$ ~ $50\text{ }^{\circ}\text{C}$

温 度 精 度 $\pm 2\text{ }^{\circ}\text{C}$

温 度 表 示 20~95%RH 温度が $5\text{ }^{\circ}\text{C}$ ~ $50\text{ }^{\circ}\text{C}$ のとき

温 度 精 度 $\pm 10\text{ }%\text{RH}$ %RHは相対湿度を表す

測 定 間 隔 約1分

*液晶はその特性上、 $0\text{ }^{\circ}\text{C}$ 以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。 $40\text{ }^{\circ}\text{C}$ 以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。 $0\text{ }^{\circ}\text{C}$ ~ $40\text{ }^{\circ}\text{C}$ になれば、正常に戻ります。

*液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。

*単3形アルカリ乾電池を使用することができます。種類の異なる電池と混ぜて使わないでください。

*表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

*製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

電池は付属しておりません。単3形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

※図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



温度／湿度

測定できないときの例

H1 °C -- 50°Cを超えるとき

L0 °C -- -9.9°C未満

49.9 H1 % 95%を超えるとき

5.8 L0 % 20%未満

-9.9 -- % 湿度測定不能

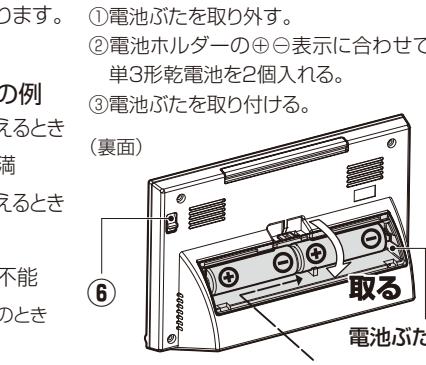
湿度は温度が5~50°Cのとき

測定

アラームスイッチがONのときは

アラーム時刻を表示

液晶表示は、見る方向により、薄くなったりむらに見え
ることがあります。照明時は上方より見てください。



单3形乾電池 2個 1個目の電池は、左側に入れてから右側に移動させてください。

△ 注意 電池の①②を指示と逆向きに入れると

液漏れ、発熱、破裂の危険があります。

■ 操作ボタン・スイッチの機能 1つのボタンに複数の機能が割り当てられています。

①進む(+) 1)アラーム時刻の設定状態にする

②戻る(-) 2)アラーム時刻、日時設定での数値設定

操作 押してすぐ離す 押し続ける

進む(+) 1つ進む 早送り

戻る(-) 1つ戻る 早戻し

3)強制受信 (受信機能がONのとき)

進む(+)と戻る(-)を同時に2秒間押 し続けると受信を開始します。

4)受信機能のON/OFF切り替え

進む(+)と戻る(-)を同時に8秒間押 し続けるとONとOFFが切り替わる。

③リセット - 日時とアラーム時刻の初期化、電波受

(RESET) 信機能をONにする

時計の状態は、①日時、温湿度を表示している通常状態 ②受信マークが点滅している受信状態

③アラームが鳴っているまたはスヌーズ機能を使用しているアラーム状態 ④アラーム時刻の設定状態

⑤手動での日時設定状態があります。状態によっては、無効になるボタン操作があります。

1. 使いはじめるとき(電池を交換するとき) 電池を入れて日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

【受信の流れと表示】

(リセットを押した直後)



↓ 受信マーク

〈受信開始〉(受信中点灯)



アラームスイッチON:アラーム時刻を表示

曜日、六曜を表示しない

受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない → 受信しやすい

① OK ② OK ③ OK ④ OK

チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が
続く場合は受信できません。場所を変えてリ
セットを押して再度受信を開始させてください。

〈受信終了〉

最長20分後

↓ (受信に成功したときの表示例)



点灯



消灯

※受信に失敗した場合の
日時は正しくありません。

○受信マークが点灯し受信成功を示しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

このようなときは、場所を変えてからリセットを押して再度受信を試みてください。

○受信マークは、受信成功後24~25時間点灯します。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

△ 注意 電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

●液晶表示が薄くなったり、表示の一部が欠けたときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。

●動いていても1年に1回定期的に交換する。

時刻表示形式の切り替え

時刻合わせを押してすぐに離すとAM/PM表示付きの12時間と24時間表示が切り替わります。

(12時間表示)



AM/PM 12:00 ~ 11:59

(24時間表示)



0:00 ~ 23:59

アラーム時刻設定状態、日時設定状態、アラーム状態、受信状態のときは表示の切り替えができません。

六曜について

●六曜は慣習として使用されていますが、公的な機関が定めたものではありません。

●六曜は2030年まで表示し、それ以降は表示しません。

2. アラーム機能の使いかた

1. アラーム時刻の合わせかた

①アラームスイッチをOFFにする

②進むまたは戻るを押して離す

「ALARM」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。

③アラーム時刻を合わせる

進むまたは戻るを押してアラーム時刻を合わせます。

④アラーム時刻合わせを終わる

約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わり、アラーム時刻から日付表示に変わります。

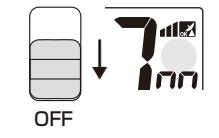
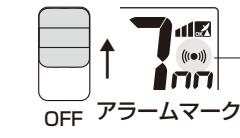
表示例 アラーム時刻を午前6時20分に合わせる。



アラーム時刻を表示しているときは曜日、六曜を表示しません。

* 12時間表示のときはAM/PMの表示に注意

アラームスイッチ ON アラームスイッチ OFF



スヌーズ機能と照明機能

アラームが鳴っているときに、スヌーズを押すとアラーム音が5分間停止してからまた鳴り出します。7回まで繰り返し使えます。8回目からはスヌーズ機能は使えません。

スヌーズは照明スイッチも兼ねています。スヌーズを押している間と離してから約5秒間照明が点灯します。照明しているときは、正面上方より見てください。角度により見えにくくなります。

アラーム音の試聴

モニターを押している間アラームが鳴り続けます。

* アラーム時刻、日時設定状態、アラーム状態のときは使えません。

■アラームご使用上の注意

アラームスイッチがONのときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使用しないときは、アラームスイッチをOFFにしてください。

温度／湿度について

温度は-9.9~50°Cの範囲、湿度は温度が5~50°Cのときに20~95%RHの範囲で表示します。測定範囲を超えたときにはH1やL0、--を表示します。

* 設置する高さによっても温度・湿度が変わります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違がでてきます。

* センサーが時計内部にあるため、周囲の温度、湿度の変化をすぐには反映しません。

* 厳密な温湿度管理や温湿度の証明、商取引には使えません。

標準電波が受信できないとき

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波が受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ … 電波が受信できないとき、任意の日に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分、秒)の順に設定してください。

年月日、時刻(時/分/秒)でのボタン操作

点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから時刻合わせを押すと数値を確定して次に進みます。

操作例

2018年12月25日午前10:37に合わせる



①時刻合わせを「ピピ」と鳴り、西暦年が点滅するまで約2秒間押し続ける。

②年を合わせる



③月を合わせる



④日を合わせる



⑤時を合わせる



⑥分を合わせる



⑦秒を合わせる

以上で日時の設定が終わりました。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

電波を受信できないときや誤受信しやすい所で使うとき、意図的に日時を変えて使うときは、電波を受信しないようにすることができます。

ON:受信機能有効 定時に受信を行う

OFF:受信機能無効 電波を受信しない

* アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは、切り替え操作ができません。

* 電池を入れ替へたりセッティングを押すと、受信機能はONになります。

強制受信とリセット操作

強制受信 (受信機能がONのとき)

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。

操作 進むと戻るの2つのボタンを同時に約2秒間押し続けると、①が点滅して受信を開始します。アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは強制受信を行いません。

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2015年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定されます。また、電波受信機能がONになり、受信を開始します。